



電気自動車が乗りやすい環境に向けて

市は、ENECHANGE株式会社（東京都、代表取締役CEO：城口洋平）と『湯沢市内のEV普通充電設備の普及に向けた連携協定』を締結しました。

本協定は、電気自動車が乗りやすい環境の整備などを通じて、ゼロカーボンシティ化の推進と地域課題の解決を目指すもの。佐藤市長は「電気自動車は雪国だからこそそのメリットがあると考えている。充電インフラの整備を進め、EV車の普及を図りたい」と、あいさつを述べました。



8月21日

商店街をギャラリーに

9月2日から10日まで市内中心商店街で「まちなか文化祭inゆざわ」が開催され、市内高等学校、小中学校、稲川支援学校の児童・生徒の絵画や書などが展示されました。

これは、児童・生徒の活動の成果を披露する機会のもと、商店街に彩りと賑わいを創出することを目的に行われているもので、商店街の店舗や交流スペース10カ所に展示された多くの作品が、道行く人の足を止めていました。



9月1日

開催前日に作品を展示する湯沢南中学校の生徒たち

世界の持続的発展のために

湯沢翔北高校2年生のギャワリ・ディプジャルさん（写真中央）が、世界の持続的発展に寄与できる人財の育成を目指すことを目的に、公益社団法人日本青年会議所が主催する事業「JCI JAPANグローバルユース国連大使」に選出され、研修活動の報告のため市長を表敬訪問しました。

ギャワリさんは、広島やカンボジアで受けたSDGsや国際問題についての研修の成果を市長へ報告し、自身の経験から感じた世界平和への想いを語りました。



8月16日

円滑な災害応急対策に向けて

市は、株式会社ダイナム（東京都、代表取締役：保坂明）と「災害時等での施設利用等の協力や支援活動に関する協定」を締結しました。

県内で5例目となる本協定は、災害時に市の要請のもと、被災者向けに店舗の設備（トイレなど）の利用や駐車場の一部を提供などしていただくもの。佐藤市長は「さまざまな事案を想定し、市民の皆さまの生命と財産を守りたい」と、あいさつを述べました。



8月21日

スポーツの秋到来！

市民総合体育大会（通称：市民総体）は、コロナ禍で開催を見合わせていた各競技も再開され、去る7月8日には4年ぶりに湯沢市民ゴルフ大会が行われました。

初心者の方でも参加可能な競技も多数開催されています。10月開催分の情報は、広報ゆざわ9月号および本紙21ページに掲載しています。スポーツの秋を楽しみましょう！



7月8日

地域の宝を未来へつなぐ

横堀地域づくり協議会（会長：櫻井勝雄、写真右から2番目）が「令和5年度環境大賞（秋田県知事表彰）」を受賞し、その報告のため市長を表敬訪問しました。

同協議会は、役内川堤防にある桜並木と「おしら様の枝垂れ桜」の環境整備に取り組み、折れた桜の枝を再利用し活用を図るという特色ある活動が評価されたものです。櫻井会長は「とてもうれしく思う。活動を続け、地域の宝を後世に伝えていきたい」と受賞を喜びました。



9月4日

